

# JICA ボランティアのSTEP

## <STEP1>



JICAボランティアに興味を持ったなら、全国の都道府県で開催される「体験談&説明会」へ。どんな活動をするのか、応募するために準備すべきことは?そんな疑問にJICA職員やJICAボランティア経験者が答えます。「体験談&説明会」に関する情報は

JICAボランティア 説明会 で 検索

## <STEP2>

応募書類を郵便ポストに投函。「体験談&説明会」、JICAボランティアのウェブサイト(www.jica.go.jp/volunteer/)、JICAの国内機関などで応募書類は入手可能。一次書類選考、二次選考での面接を経て合格者を決定。

## <STEP3>



合格通知を受け取ったら、派遣に向けて準備スタート。専門分野の実践的な技術を磨くために「技術補完研修」が行われる職種も。その後、JICA二本松訓練所(福島県)、JICA駒ヶ根訓練所(長野県)での「派遣前訓練」を通じて、約2カ月間みっちりと言学と途上国生活のノウハウを学ぶ。

### 訓練生の声



あらた  
大竹 更さん

JICA二本松訓練所で派遣前訓練に参加

2013年4月の出発に向けて、派遣国モロッコの公用語であるフランス語を約210時間かけてみっちり学びました。私の担任はモロッコ出身の先生で、現地で使える「会話力」を重視した実践的な授業が役立ちました。その他にも、JICA職員や専門家の方々から、国際協力や異文化理解、安全対策などについて、派遣前に知っておくべき基礎知識を学ぶ講座など、盛りだくさんのカリキュラムでした。また、PCの使い方や途上国でも簡単にできる日本食の作り方など、訓練生一人一人が持つ技術やノウハウが共有できるのも魅力です。

協力隊に参加したいと思いつけて3年。その夢がかない、今はとても楽しみです。現地の人に「日本から協力隊員が来てくれてよかった」と言ってもらえるよう、力を出し切ってがんばりたいと思います。

### 語学講師の声



シリパーラ・ウイラコーンさん

JICA駒ヶ根訓練所  
スリランカ/シンハラ語担当

JICA駒ヶ根訓練所で語学講師を務めて約15年になります。シンハラ語を学ぶのはほとんどの人が初めて。基礎を正しく理解しないと応用力が育たないため、まずは読み書き、その後さまざまな場面を想定した会話を徹底的に教え込みます。

私のキャッチフレーズは「カマックネー」。シンハラ語で「構わない」という意味。間違いをしても「構わない」から、どんどん発言することが大切だと言っています。また、早く現地になじめるよう、授業の合間に、スリランカの文化などについても話すようにしています。

JICAボランティアの皆さんは、自ら学ぶ意志を持ち、縁もゆかりもない国へと飛び込んでいきます。彼らが現地の人々と仲良くなり、国と国の懸け橋となって、世界を支えていってくれることを願っています。

## 特集 JICAボランティア

# 世界に羽ばたけ! 草の根の外交官

### < 訓練所のある1日 >

- 5:40 起床
- 6:30 朝の集い、体力づくり
- 7:10 朝食
- 8:45 ~ 11:35 語学研修
- 11:40 昼食
- 13:00 ~ 14:50 語学研修
- 15:10 ~ 17:00 国際協力や異文化理解などの講義
- 18:00 夕食
- 19:00 ~ 自主学習
- 23:00 消灯

# コトハジメ



第一次隊として選ばれた精鋭たち

「日本青年海外協力隊」の誕生は1965年4月。草の根レベルの国際協力の推進、日本の若者の人材育成をうたったこの制度は反響を呼び、約700人の応募が殺到。同年12月にラオスへ、翌月にカンボジア、マレーシア、フィリピンへ、総勢26人が旅立った。

途上国で汗を流したJICAボランティアは、

**48年間で88カ国 約4万4,000人!**

## あなたに合うのは?

### 青年海外協力隊



© Shiniichi Kuno

**受入国** 約80カ国(アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東)

**協力分野** 計画行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9分野

**職種** 小学校教育、コミュニティ開発、看護師、スポーツ、環境教育など120種類以上

**期間** 原則2年

**対象年齢** 20~39歳

### シニア海外ボランティア



© Natsuki Yasuda/studio AFTERMODE

**受入国** 約50カ国(アジア、アフリカ、中南米、大洋州、中東)

**協力分野** 計画行政、公共・公益事業、農林水産、鉱工業、エネルギー、商業・観光、人的資源、保健・医療、社会福祉の9分野

**職種** 行政サービス、品質管理、電気通信、マーケティングなど100種類以上

**期間** 原則2年

**対象年齢** 40~69歳

### 日系社会青年ボランティア

### 日系社会シニア・ボランティア



© Kenshiro Imamura

**受入国** 約9カ国(中南米)

**協力分野** 人的資源、保健・医療、農林水産、社会福祉など

**職種** 日本語教育、青少年活動、ソーシャルワーカー、小学校教育など

**期間** 原則2年

**対象年齢** ●日系社会青年ボランティア 20~39歳  
●日系社会シニア・ボランティア 40~69歳

2年間は長いという人に

### 短期ボランティア

日本を長く離れるのは難しいという方にぴったり。先方政府の要請に応じて、期間は1カ月から10カ月(最長1年未満)。

社会人にも参加のチャンス

### 現職参加制度

休暇などの扱いで、所属先に身分を残したまま参加できる制度。これまでのべ1,500以上の企業・団体から参加。

## これを見れば分かる! 情報BOX

JICAボランティアのウェブサイト(www.jica.go.jp/volunteer/)には、募集要項や職種、JICAの担当者や経験者の声などのお役立ち情報が満載。経験者の「キャリア」や「思い」が一目で分かる「100人の履歴書」、現地での活躍を映像で紹介する「YouTube JICAボランティア公式チャンネル」にも注目。



© Takeshi Kuno